

多良木町都市農山村交流促進施設設置事業

自治体情報

熊本県多良木町

人口 / 10,870人

標準財政規模 / 4,062百万円

担当課 企画観光課

電話番号 直通 0966-42-1257

実施主体 多良木町

関連ホームページ <http://www.town.taragi.lg.jp>

事業期間 平成21年度から平成22年度まで

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：69,914千円

名称	所管	金額(千円)
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	農林水産省	25,500
地域活性化・公共投資臨時交付金	総務省	24,193
一般財源	-	20,221

施策のポイント

宿泊施設の確保を最大の目的とし、都市と農村との交流の拠点として活用するため、簡易宿泊施設「ブルートレインたらぎ」を平成22年7月1日に開業させた。

平成21年3月に運行が廃止となった寝台特急「はやぶさ」の車両を、できるだけ当時のまま手を加えず寝室として再利用しており、鉄道ファンのみならず、全国から多くの方に利用いただいている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

都市と農村との交流を促進するためには、宿泊施設が大変大きな役割を担うのもであるが、多良木町では農家民宿3軒（合計定員21人）とビジネスホテルが1軒（定員13名）があるのみで、宿泊施設の建築を望む声が多かったことを背景とし、交流人口と宿泊者の増加を促すことで多良木町の活性化を図ることを目的とした。

2. 取組の具体的内容

平成21年3月に運行廃止となった寝台特急「はやぶさ」の車両3両をJR九州から購入し、くま川鉄道多良木駅沿いに設置して簡易宿泊施設として再利用するものである。

車両は、できるだけ現状のまま使用することで、全国各地からの鉄道ファンをはじめとする観光客を誘致し、また、観光案内人を育成し、町内に点在する歴史的文化財等観光施設を案内しながら、多良木町の魅力を伝える。

更に、民間で組織する多良木町グリーン・ツーリズム研究会を中心に、農山村でのスローライフを提供できるシステムの構築を行う。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

(1) 交流人口の増加（平成20年度実績172,540人 → 平成24年度目標191,500人）

(2) 宿泊者の増加（平成20年度実績 2,015人 → 平成24年度目標 4,400人）

(3) 施設の利用者数（目標 年間2,400人）

4. 現在までの実績・成果

平成22年7月1日の開業から平成23年3月31日までの9月間の利用者数は2,851人で、1月平均約320人であった。

マスメディアからの取材等もあり、全国各地から利用いただいているところである。また、平成23年3月12日に九州新幹線が全線開業したことにも影響され、現在も利用者が増加しており、施設のみならず周辺の商店街等への経済効果も上がってきている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

当初は、議会をはじめ地元住民から不安の声も多数寄せられたが、鹿児島県阿久根市の事例を研修しながら意見交換を行い、事業の実施へととなった。

結果として目標値をはるかに上回る利用者があったことで、ボランティアでの清掃活動や夏場のビアガーデン開催等も行われてきている。

6. 今後の課題と展開

開業当初は「珍しさ」もあり多くの利用があったが、今後はいかにリピーターを増やすかが鍵となると思われる。

現在は町の直営で行っているが、今後は、指定管理者制度を導入し、民間による経営とすることで、サービスの向上と営業努力を期待するものである。